

廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

3月号 (No.27)

令和7年

3月5日 (水)

3年生を送る会

3月4日(火)に、伝統の「み・そ・あ・じ」レンジャーTシャツを着た生徒会執行委員が中心となり、「3年生を送る会」が行われました。スクリーンに映し出された先生方の持ち物を4種類見て、持ち主の先生を当てる「先生クイズ」では、14問すべて正解した生徒が10名以上いました。鍵のアクセサリや、眼鏡など、先生方のことをよく観察していることに驚きました。

後輩からのメッセージ動画では、グランメゾン佐伯?があったり、ダンスがあったりと、各クラスが3年生に楽しんでもらおうという思いで、工夫を凝らした演出をしていました。また、各部活動からのメッセージ動画でも先輩一人ずつへ呼びかけながら、感謝の気持ちを伝えていました。

3年生の思い出ビデオでは、江田島合宿、修学旅行、体育祭、文化祭など行事ごとのスライドがスクリーンいっぱい映し出され、そこには自分たちがこれまで一生懸命取り組んできた姿があり、照れくささもありながら、真剣に見入っていました。

また、転勤された先生方からのメッセージでは、去年までお世話になった先生方が登場しました。懐かしさを感じているとその撮影場所が「ゆめや食堂」前だったり、スクリーンに現れた先生から突然指名されて起立して返事したり、得意なダンスのステップを踏んだりする3年生もいました。

在校生から感謝の気持ちを「ぼくらまた」の歌で伝えました。そして最後に3年生からのお礼の言葉があり、サプライズで3年生全員が「365日の紙飛行機」を歌いました。3年生の先生たちも喜んでおられました。歌詞の中に「その距離を競うより、どう飛んだのか、どこを飛んだか、それが一番大切なんだ」という部分がありました。本当にそのとおりだと思います。

楽しい時間はあっという間に終わってしまい、また一つ中学校生活の思い出ができました。



思い出ビデオの上映



生徒会執行委員の活躍



3年生の歌を聴く3年の先生方

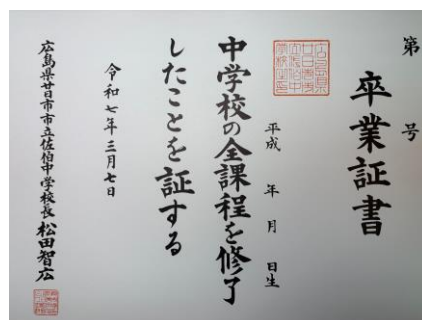
「卒業証書」について

3月7日（金）には、第56回卒業証書授与式が行われます。そこで、卒業生が当日に受け取る「卒業証書」について改めて確認してみましょう。

最初に第〇〇号とあります。これは第1号から始まって、佐伯中を卒業した一人一人に付された番号です。昨年度までを調べると第7390号まで付されていました。この数は、佐伯中の全卒業生の人数を表していることとなります。その中には皆さんの家族や親戚がいらっしゃるのではないのでしょうか。このことに佐伯中の伝統と歴史を感じます。

そして、たった2行「中学校の全課程を修了したことを証する」と書いてあります。その中にある「全課程」とはなんでしょう。授業で多くの事を学びましたが、それだけではありません。一日でいえば朝の挨拶から始まり、給食、掃除、委員会活動や部活動、下校時の挨拶、もしかすると休憩時間の会話も含めて、すべてが『学び』になったのではないのでしょうか。もちろん楽しかったことばかりではないでしょうし、体調が悪く休んだ日もあるでしょうし、なかなか思い通りにはいかない日もあったでしょう。それらを含めて、佐伯中の生徒として3年間を過ごしたことを讃えている2行だと感じます。

式本番では、担任の先生が皆さんを一人ずつ呼名します。私は「卒業証書」を一人ずつ手渡します。皆さんは保護者の方に見守られながら堂々とした姿で臨んでください。「卒業証書」を納めるものは、これまでのような筒ではなく、右のようなフォルダに変わりました。時々フォルダを開き、「卒業証書」を見て、佐伯中の友達や先生達からのエールを思い出してください。



教え子たちとの再会

先日、私が他校で10年前に女子バレー部の顧問をしていた時の教え子たち（当時の部員は約30名、そのうち2年生が13名おり、その中の9名）と再会しました。彼女たちは現在24歳で、就職は、小学校の先生、看護師、税理士、金融機関、半導体メーカー、IT企業、広島市役所や広島県庁などであることを教えてくれました。それぞれの仕事内容を聞いてみると、一生懸命に仕事と向き合っている様子がうかがえました。

彼女たちが中学生だった頃を思い出すと、元気で、明るくて、無邪気で、人の話をよく聞き理解していたし、もちろん勉強も部活動もよく頑張っていました。今は素敵な大人になり、広島県内だけでなく、県外の京都、兵庫、東京で活躍していることを聞いて、とても頼もしく感じました。

現在、中学生である皆さんは、10年後はどんな大人になっているのでしょうか。今思い描いている将来の姿と、10年後の姿は異なっているかもしれません。それでも、今考えている夢に向かって努力することは、決してムダではなく、必ず自分自身の糧になります。今思い描いている夢に向かって、一歩ずつ前に進んでください。